

講演要旨

『西部北極海におけるメタンガスの放出・消滅過程について』

近年の北極海で起きている海氷の顕著な減少により、メタンガスの放出増大が懸念されている。したがって、北極域における気候変動予測では、メタンガスの動態が重要である。

西部北極海(チャクチ海、カナダ海盆など)におけるメタンガスの観測データは不十分であることに着目して、2012年秋季の当該海域のメタンガスの動態を調査し論文にまとめ、日本海洋学会 奨励論文賞を受賞した。

この論文をもとに、海洋、気候などの話題を提供する。